



2013年5月8日

大和ハウス工業株式会社  
代表取締役社長 大野直竹  
大阪市北区梅田 3-3-5

**PM2.5 を除去する空気清浄ユニット  
『換気浄化「ef（イーエフ）」』を新築住宅に無料設置  
「空気割」キャンペーン開始**

大和ハウス工業株式会社（本社：大阪市、社長：大野直竹）は、2013年5月9日より、戸建住宅を新築されるお客さまで、出産予定のご家庭、小学生以下の子どもがいるご家庭、65歳以上の高齢者がいるご家庭を対象に、当社オリジナルの空気清浄ユニット『換気浄化「ef（イーエフ・excellent fresh）」』を無料で設置する「空気割」キャンペーンを開始します。

昨今、PM2.5<sup>\*1</sup>などの大気汚染が引き起こす健康被害への社会不安が高まっているなか、住宅建築においても室内の空気環境を意識されるお客さまが増えています。特に免疫力の低い子どもや高齢者は、影響を受ける可能性が高く、より一層の配慮が必要となります。

そこで当社では、戸建住宅を新築されるお客さまのうち、ご出産予定のご家庭、小学生以下の子どもがいるご家庭、65歳以上の高齢者がいるご家庭を対象に、PM2.5等室内に飛散する様々な微粒子を99.97%以上除去できる「HEPA フィルター」<sup>\*2</sup>を採用した当社オリジナルの空気清浄ユニット『換気浄化「ef」』を無料で設置する「空気割」キャンペーンを実施します。

「空気清浄機」、「換気」、「イオン発生器」の技術を兼ね備えた『換気浄化「ef」』の無料設置によって、より快適な室内環境を作り出し、安全・安心な住まいを提供します。

※1. 大気中に浮遊する小さな粒子のうち、粒子の大きさが2.5 $\mu$ m(1 $\mu$ m=1mmの1000分の1)以下の非常に小さな粒子の総称。

※2. フィルターの性能試験に基づく性能であり、実機の性能とは異なります。また、0.3 $\mu$ m未満の微小粒子状物質については、除去の確認ができておらず、空気中の全ての有害物質の除去はできません。

●「空気割」キャンペーン概要

- ・実施期間：2013年5月9日～7月31日
- ・対象者：ご出産予定のご家庭、小学生以下の子どもがいるご家庭、65歳以上の高齢者がいるご家庭
- ・内容：『換気浄化「ef」』を無料で設置
- ・申込条件：上記対象者のいるご家庭で、建築可能な土地（自己所有・借地）をお持ちのお客さま、もしくは購入予定のお客さまで、2013年5月9日（木）から2013年7月31日（水）までに建築請負契約を締結していただける方

※当社販売土地をご購入のうえ建築される方は対象、分譲住宅をご購入の方は対象外。

## ● 『換気浄化「ef」』

『換気浄化「ef」』は、アレルギーの原因となる室内に浮遊する汚染物質を吸着し、キレイな空気を生成する当社オリジナルの空気清浄機です。高性能「HEPA フィルター」、急速排気、プラズマクラスターイオンというトリプル浄化機能によって、室内に浮遊する微粒子やお部屋の嫌なニオイはフィルターで、フィルターで取りきれないタバコのニオイや水蒸気は急速排気で除去することで、きれいな空気環境を生み出します。また、天井カセット式なので、リビングや寝室にもすっきりと設置でき、置き場所に困ることがありません。



### 「空気清浄機」・「換気」・「イオン発生器」の技術を備えたトリプル浄化機能

#### 1. 住宅業界で初めて搭載した高性能「HEPA フィルター」

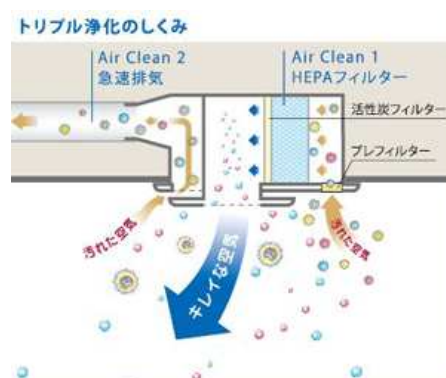
活性炭フィルター、プレフィルターに加え、住宅業界で初めて高性能「HEPA フィルター」を搭載しました。高い洗浄度が要求される病院の集中治療室やクリーンルームでも使われている高性能「HEPA フィルター」が、タバコの煙に相当する  $0.3\mu\text{m}$  の非常に細かい粒子でも 99.97%以上除去します。

#### 2. タバコの煙や水蒸気も除去できる急速排気機能

フィルターでは除去できないガス成分を排出する、急速排気機能を搭載。お部屋に漂う嫌なニオイを強制排気し、強力脱臭することで、常に新鮮で爽やかな空気環境を保ちます。

#### 3. プラズマクラスターイオンを放出

自然界にあるものと同じプラスとマイナスのイオンをプラズマ放電により創り出し放出します。これにより、空気中のカビ菌等の活動を抑制します。



※『換気浄化「ef」』を標準搭載としている「xevo E (ジーヴォ・イー)」については、相当額を値引きします。

## ● キャンペーンサイト URL

<http://www.daiwahouse.co.jp/jutaku/kukiwari/index.html>

以 上

お問い合わせ先		
広報企画室	広報グループ	06 (6342) 1381
	東京広報グループ	03 (5214) 2112

